

さいたま市長 4月定例記者会見

平成29年4月7日（金曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社の共同通信さん、進行をよろしくお願いたします。

○ 共同通信 4月の幹事社を務めます共同通信と申します。よろしくお願いいたします。
それでは、本日の記者会見内容について市長から説明をお願いします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。

桜の開花前線が北上する中、来週月曜日には市立小中学校の入学式、始業式を予定しております。満開の桜のもとでさいたま市の子供たちが晴れやかな出発を迎えてくれることを願っています。さいたま市でも391名の新規採用職員を迎え、「市民一人ひとりが幸せを実感できる都市」の実現に向けて新たな組織体制がスタートしました。

それでは、本日の議題に移らせていただきます。

市長発表：議題1「さいたま市農業交流施設整備基本計画の策定について」

まず、最初の議題であります、「さいたま市農業交流施設整備基本計画の策定について」でございます。これについてまずご説明をさせていただきますと思います。

本市では、生産地と消費地が隣り合う本市農業の特色を生かし、農の持つ伝統的な文化や豊かな自然を伝え、農のある暮らしの豊かさを都市住民と共有できるように、農産物直売所などを含む農業交流施設整備基本計画を本年3月に策定をいたしました。

初めに、農業交流施設の目的とコンセプトについてでございますが、その目的についてでございますけれども、消費地と隣接する利点を生かして農の魅力を発信し、農の価値と魅力を都市住民と共有することとしております。これによりまして、地産地消の推進、あるいは消費拡大など都市農業の振興につなげていきたいと考えております。

また、基本コンセプトといたしましては3つ掲げております。まず1つ

目でございますけれども、「農、見沼の魅力の発信」としまして、農産物の直売やさまざまなイベント講座の実施を通じまして、農、また見沼の魅力を発信するというものでございます。

続きまして、2つ目は、「地域のグリーンツーリズムの拠点」として、地域の市民農園、また観光農園利用者のための拠点とするものでございます。

そして、3つ目は、「花・植木に親しめる場」でありまして、現農業トレーニングセンターの園芸植物園を活用しまして、周辺で生産の盛んな花、植木に親しめる場とするものでございます。

次に、施設の構成についてでございますけれども、農業交流施設は、新たに整備する本館のほかに、緑区大崎にございます農業者トレーニングセンターの既存施設であります園芸植物園、花き集荷施設及び緑の広場で構成をいたしております。

園芸植物園、花き集荷施設、緑の広場は、花植木生産が盛んな地域の特性を生かしまして、植物と気軽に楽しむことができる施設として活用いたします。農業交流施設本館は、農の魅力を発信する拠点となるとともに、周辺の公共施設、あるいは観光農園など地域資源を回遊する人の拠点施設となりますので、シンボリックで中核的な施設づくりを目指してまいります。

本館の整備内容でございますけれども、直売所は地産地消を進め、農の魅力を発信するための機能として欠かせない施設となります。そのほか、農業研修施設、農産物加工体験施設は各種講習会や料理教室などの開催の場となります。また、インフォメーションは周辺地域に関する農情報等の情報発信を行うものでございます。

レストラン機能は、地元農産物を使用し、利用者に地場産の食材のよさを伝え、地産地消の意識を高めるレストランとすることが望ましいと考えております。

続きまして、整備予定地につきましては、幹線道路であります国道463号線に面してアクセス性にすぐれており、大型バスなどにも対応できる十分な広さの駐車場を確保できることから、クリーンセンター大崎の敷地の一部ということにさせていただきました。本館の敷地は、クリーンセンター大崎第一工場の東側にございます。現在駐車場、大崎清掃事務所

の収集棟などが配置されておりますエリアを考えております。

施設整備後は、農業交流施設本館建物を敷地の北側中央に南向きに配置するほか、駐車場、駐輪場などを配置いたします。また、国道463号線に面した場所にメインの出入り口を設置いたします。敷地利用につきましては、既存の第一工場や大崎清掃事務所収集棟などの解体整備を伴いますので、時間はかかりますが、調整を図りながら進めてまいります。

農業交流施設の整備予定地の周辺には、見沼ヘルシーランドや大崎公園などの公共施設や桜回廊などの見沼田んぼの自然といった地域資源がございます。このような公共施設や地域資源と連携することで、単独施設ではなし得ない多面的な機能を持つことができます。また、周辺には多くの市民農園や観光農園がございますので、こちらを利用の方が休憩や買い物のために農業交流施設を利用して、誰でも一日農と親しめる施設づくりを目指してまいりたいと考えております。

また、施設だけではなく、農に対する都市住民のニーズとしては、安心安全な地元の農産物の購入をはじめとして、農作業体験をしたい、また地元の農産物を使った料理を学びたいといったニーズも増えております。これに応えるために、郷土料理を自分でつくって味わってみたり実際に農産物の加工を体験する機会を提供するなど、「知る」、「体験する」ことにより、農により親しんでいただけてもらうソフト事業の充実を図っていきたいと考えております。

次に、スケジュールでございますが、平成35年度に施設の稼働の予定で整備を進めてまいります。施設整備まで時間を要しますので、周辺農家の協力をいただきながら、農産物直売イベントなどのソフト事業を施設整備まで継続して市民との交流と農家の機運の醸成を図ってまいりたいと考えております。

また、基本計画の概要については以上となりますが、地域の特色を生かし、見沼を中心に都市住民と農との交流を推進するとともに、農産物の販路も拡大でき、農家経営向上を図ることができるような施設づくりを目指してまいりたいと考えております。

市長発表：議題2「大宮駅東口の駅前にテラスがオープンします！」

次に、議題の2でございます。「大宮駅東口の駅前にテラスがオープンします！」について説明をさせていただきます。

初めに、目的についてでございますけれども、今月開催予定の「世界盆栽大会 in さいたま」であるとか、2020年の「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」など世界的なイベントが本市で開催する予定となっております。こうしたイベントのときには、交通の要衝でもあります大宮駅周辺には、多くの観光客が集まることが見込まれます。こうしたタイミングに合わせまして、駅前の公有地を有効活用することで、大宮を訪れる多くの方々をおもてなしする機能を導入することを目的としたプロジェクトでございます。

次に、検討の経緯でございます。本プロジェクトは、「(仮称) 大宮駅東口駅前おもてなし公共スペース・デザインプロジェクト」と題しまして、大宮駅周辺のまちづくり情報スペースであります「まちラボおおみや」を会場にした市民参加型によりますオープンな検討を進めてまいりました。

意見交換会には、まちづくり団体でありますとか地元の商店街の方々にご参加をいただきまして、これまでで合計6回の意見交換会を開催させていただきました。意見交換会では、参加していただいた皆様と機能のあり方、プランの方向性、さらには施設の名称なども一緒になって決定をまいりました。

次に、施設の概要についてご説明をさせていただきます。場所は、大宮駅東口の駅前広場の南側に位置しております。これまで時間貸しの駐輪場として使用していた、市が所有する土地でございます。その駐輪場の約半分を活用しまして、現在、施設を建築中でございます。建築面積は173平方メートル、地上1階、鉄骨づくりの施設となっております。

意見交換会で決定した施設の名称は「OM TERRACE (オーエム・テラス)」であります。「OM (オーエム)」については、「おおみや」でありますとか「おもてなし」という言葉が連想できる文字として、そして「TERRACE (テラス)」につきましても、空間や活動をイメージさせる単語と伺っております。

機能としては、1階にトイレとコミュニティサイクルポートを配置しております。そして、その屋上を活用し、テラスとして利活用できる計画と

しております。

次に、建築設計についてでございます。設計は、藤村龍至氏が担当いたしました。藤村氏は東京藝術大学美術学部建築科の准教授でありまして、「大宮駅東口プロジェクト」や先日発足いたしました「アーバンデザインセンター大宮」などで大宮のまちづくりに長くかかわってきた新進気鋭の建築家でもあります。藤村氏には、今回設計やデザインということだけではなくて市民との意見交換会のコーディネート、また竣工後の利活用の提案などトータルにかかわっていただいております。

大宮の玄関口にふさわしいおもてなしを実現するための大きな屋上テラスは、意見交換会での藤村氏の提案がもとになっております。躯体の仕上げにつきましては、メッキ加工によって耐久性を確保し、間接照明によるやさらかな照明計画、また視認性を確保して、4カ国語（日本語、中国語、英語、韓国語）を併記いたしましたサイン計画なども特徴となっております。

また、構造設計は日本建築学会賞を受賞いたしました上州富岡駅でありますとか、立川第一小学校などの構造を担当いたしました小西泰孝氏が関わりまして、耐震性を確保しつつも、柱が人の手でつかめるほどのビール瓶と同程度の細さとするなど繊細な構造計画となっており、軽快な空間を確保しております。

次に、設備面の特徴でございます。まず、トイレについては、ウォシュレットを完備することはもちろんであります。悪臭のもとになりやすい箇所への効率的な換気や汚れやすい箇所に清掃しやすい材質を選定するなど清潔な環境を維持し、快適に利用していただけるような工夫を積極的に盛り込んでおります。

今もちろんのことと申し上げましたが、このウォシュレットをさいたま市として屋外のトイレに導入したのは今回が初めてということになります。それだけこの衛生面、きれいさというものにこだわってつくったものということでございます。

また、子供連れの方にも快適に使っていただけるように、ベビーカーと一緒に入れるようなトイレブースの大きさを設定したりしております。また、ゆとりのあるパウダーコーナーを確保することや、ベビーベッド、ベ

ビーチアを設置するなど、随所に女性でありますとか、子供連れの方への配慮を施しております。

また、防犯面の配慮といたしましては、監視カメラによる24時間の監視体制はもちろんのこと、施設の動線が全て通り抜けできるように設計されておりまして、行きどまりのない安心安全な動線を確保しております。また、死角をできる限りなくすために壁面を斜めに設定するなどのアイデアを盛り込みまして、誰もが安心して利用できるような施設設計となっております。

次に、屋上テラスについてでございます。屋上のテラスは、面積が150平方メートル、2カ所の階段とエレベーターによって屋上に上がることができ、大宮駅東口の駅前広場を見渡せる見晴らしのよいウッドデッキのテラスでございます。

屋上には、ベンチなどに加えまして、手すり沿いにカウンターなども設置しまして、待ち合わせのほか、ちょっとした休憩などでも活用いただける空間となっております。あわせて、外国人などからの要望も多いWi-Fi（ワイファイ）の環境も整備を行ってまいります。

また、屋上テラスはイベントなどでも活用できるように設計されております。駅前のさらなるにぎわいの創出に向けて、この屋上テラスをイベントなどで実際に活用できるようなスキームを現在検討しているところであります。

最後に、今後の予定についてでございますが、現在鋭意工事が施工中でございますが、4月23日の日曜日の午後に内覧会を開催する予定となっております。現地におきましてスタッフが対応させていただきますので、ぜひお越しいただきたいと思っております。また、内覧会終了後には施設をオープンさせていただく予定です。

また、4月27日から「世界盆栽大会 in さいたま」がこの大宮を会場として開催されることとなります。そのときには、この施設の屋上テラスで盆栽大会の来場者をおもてなしできるような取り組みを行いたいと思っております。この「OM TERRACE（オーエム・テラス）」が大宮駅東口の新たなシンボルとなって、たくさんの人をおもてなしする施設となることを願っております。

説明は以上でございます。

議題 1 に関する質問

- 共同通信 ありがとうございます。
 まず、幹事社から1点質問させていただきます。農業交流施設についてなんですけれども、直売だったり研修の講習会だったりというのの担い手というのはどういった方がされるというふうな想定をされていますか。
- 市 長 この施設の運営ということですか。
- 共同通信 担当するというか。
- 市 長 その事業手法といいますか、運営の手法については今後またさらに検討していくということになると思いますが、より民間の皆さんの力をいろいろ活用させていただきながら進めていくということになるのだろうと思っております。
- 共同通信 例えば地域の農家の方にここで働くなり講習をやらしてもらったりということも検討されるということでしょうか。
- 市 長 そうですね。そういったことなども含めて検討していきたいと思っております。
- 共同通信 ほかに市長からの説明について何か質問がある方はお願いします。

議題 2 に関する質問

- 埼玉新聞 埼玉新聞と申します。
 テラスのほうなんですけれども、まず総工費と、あと23日の内覧会終了後にオープンということなんですけれども、利用時間みたいなものは。
- 事務局 総工費につきましては、ちょっと今手元にございませんで、後ほどということでもよろしく申し上げます。
 (会見後追加：請負額116,758,800円)
 オープンですが、内覧会が終わって、そのまま開放いたします。施設自体は24時間ご利用いただけることになっております。
- 埼玉新聞 埼玉新聞と申します。
 今の件でちょっと追加で。ということは、内覧会の23日の日がもうオープンということでもよろしいですか。
- 市 長 はい、そうです。
- 埼玉新聞 続けていいですか。テラスのほうなんですけれども、駅前で多分人通り

が多いところなので、きれいなものをつくっても、公衆トイレとかと一緒に、使い方によってはすぐに傷んだりすると思うんですけども、こちらの防犯カメラによる24時間の監視体制とあるんですけど、何かあった場合は、すぐに駆けつけるのはどなたが駆けつけるのですか。近くに交番とかもあると思うんですけど。

- 市長 目の前に交番がございますので、もちろんそういった抑止力というか、そういった部分はあるかと思えますけれども、今後具体的な運営方法については、そういう治安、安心して使っていただくということが必要でありますので、今後またその辺は具体的に詰めていきたいと思えます。
- 読売新聞 テラスのほうで何点かあります。用途としては、ふだんは待ち合わせ場所とか、あと休憩場所ということですから、何か駅前の例えば渋谷駅でいうハチ公前みたいな場所をイメージということでもいいですか。
- 市長 はい、そうです。
- 読売新聞 ここはもともとそういう需要があったんでしょうか。大宮のあそこで待ち合わせみたいな場所が余りないとか。
- 市長 今、大宮駅の具体的な待ち合わせ場所としては、駅のコンコースにあります豆の木のところが多いと思えますけれども、具体的に西側、東側ということになると、東口だとなかなか待ち合わせ場所がなかった。どちらかというと交番の前というのは一番わかりやすい場所でしたので、待ち合わせ場所としてなっていった部分もあるかと思えますけれども、今後より明確なシンボリックな施設ができることによって待ち合わせも当然しやすくなるということもありますし、やはりおもてなしの空間として、これから東口のまちづくりは進んでいきますけれども、そのシンボルとして、東日本の対流拠点としてのシンボリックな施設としてご活用いただきたいと思っております。
- 読売新聞 おもてなしというのは、例えばどういったことでなさっていく予定ですか。
- 市長 通常のときには休む場所であったり、あるいは待ち合わせ場所だったりということになるかと思えます。また、先ほど言いましたけれども、1階に公衆のトイレがあり、清潔さを維持していきます。トイレは日本が世界に発信ができるすごい文化といいますか、そういった部分もありますので、

きれいな公衆トイレという部分をぜひ発信をしていきたいと思っておりますし、そういった部分でもしっかりおもてなしをしていく。また、イベントがあるときには、その情報発信スペースとしても御活用いただくということになろうと思います。

- 読売新聞 トイレはこの施設の一つの売りになるんですか。
- 市長 そうですね。そう思っております。
- 読売新聞 あと、コミュニティサイクルポート、これはどんなものになるのでしょうか。
- 市長 これは、現在さいたま市が進めておりますコミュニティサイクルのステーションになります。さいたま市は自転車のまちづくりを進めております。市内24カ所のサイクルポートがございますので、まさに東日本の玄関口と言われる大宮駅のところに、まさに駅前にそういったサイクルポートが置かれるということもおもてなしの一つのあり方として発信ができるのではないかと思っております。
- 読売新聞 あともう一点、今回大宮駅周辺のまちづくりの一つの拠点というふうなことをおっしゃっていましたが、この施設の位置づけとしては、従来から市長おっしゃっている大宮駅周辺につくる情報発信拠点などのかかわりとしては何かあるのでしょうか。
- 市長 今後イベントとしても活用していただきたいという思いがありますので、1つは地元商店街などにも活用いただきたいとも思っておりますし、もう一つは東日本の連携をしていく支援センターなどの整備をしていく予定ですが、その一つの発表の場であったり、あるいはいろいろなイベントをしていく場としても活用ができるのではないかと考えております。
- 時事通信 時事通信です。
この施設、2階はテラスのみなのかという点と、1階はトイレのほかに何か別の機能があるのかという点と、ウォシュレットは幾つあるのかということで、市の屋外トイレにウォシュレットは初めてということなんですけれども、ほかにどこか自治体でそういうものを置いているところをご存じのところがあれば教えてほしいんですけども。
- 市長 まず、1階の部分ですが、コミュニティサイクルポートが24台分ございます。それから、男子トイレは小が5基、大が1室、女子トイレについ

ては3室とみんなのトイレが1室になっております。また、屋上には2カ所の階段に加えましてエレベーターを設置する予定となっております。それ以外はないです。オープンでございます。それから、そういったウォッシュレットを屋外にしている他の自治体のケースというのはどうでしょうか。担当のほうから。

- 事務局 私の知っている限りでは、ありませんが、基本的に調べてはございませんので、はっきりとしたことは申し上げられません。
- 市長 今回ののは無料ということもありますし、その他の自治体の事例については把握をしておりません。ただ、今少しお話があったように、やはり駅前の公衆トイレ、今までさいたま市の大宮駅東口にあったのは非常に汚いという部分もありましたけれども、これから女性の方々をはじめ多くの方々が来訪していただくときにトイレというのは、駅も今JRのトイレは非常にきれいになっておりますし、また商業施設もトイレのあり方を変えることで集客につながるケースも多々あると聞いております。外側に設置をするトイレの維持管理は非常に難しい部分もありますけれども、あえて清潔さを保って、多くの皆さんに安心していただける、そういったまさにきれいで安心して使えると、そういった場所だということを多くの皆さんに知っていただく上でもシンボリックな施設にしていければという思いもあります。
- 時事通信 清潔さを維持するために、かなり小まめに清掃などは行う予定なのか。
- 市長 先ほどの治安の問題も含めまして、今、通常の維持管理のやり方については検討しているところでございますので、いずれにしてもより清潔感と安全に使えるということについては市としてもしっかりと取り組んでいきたいということを考えております。
- 東京新聞 今の関連なんですけれども、もともと駐輪場の半分場所を使ってこれをつくっている。駐輪場が減ってしまうことに対する影響について。
- 市長 駐輪場への影響については、今後できるだけ周辺のところを整備をするということも含めて、あと民間の施設などに誘導するというのもも含めて、できるだけ影響のないようにしていきたいとは思っております。
- 東京新聞 台数としては、何台分というのが何台分になってしまったというような

ことは。

- 事務局 これまで300台ほどだったのが約半分ほどには減ってございます。
- 東京新聞 その分をどこかまた別の場所につくるといこと、それだったり民間の場所に誘導するといことを今後検討されるといことですね。
- 市 長 はい。
- 朝日新聞 朝日新聞です。

「OM TERRACE (オーエム・テラス)」に関連してなんです、先ほど活用の方法として整備を予定されている東日本の支援センター、発表の場というふうにおっしゃっていたのですけれども、この支援センターの目的とか役割については、昨年フォーラムでも関連する自治体側からいろいろ意見が出て、今検討段階かなと認識しているんですが、現時点で主にどういう役割を担った場所にしたいと。支援センターといか、東日本の交流拠点。

- 市 長 交流支援センターについては、今詰めている段階でありますけれども、その場所で完結するものといよりは、周辺の商業施設であるとか商店街とか、そういったものと連動しながらやっていくような場にしていきたいと思っております。ですから、施設的にはそれほど大きなものといよりも、むしろ事業者同士のマッチングの場であったり、あるいは詳細な情報の提供の場であったりといような機能になってくるのではないかと考えております。これは今現在詰めている段階でありますので、具体的にはまだ申し上げられないとい状況でございます。ただ、今回の「OM TERRACE (オーエム・テラス)」については、そういうものと連動した活用ができるのではないかといことで、それとしっかりいつも連動しているといことではありません。

- 朝日新聞 念のため確認ですけど、むしろビジネスマッチングみたいな場を支援センターのほうにはイメージしていらっしゃる感じですか。

- 市 長 恐らくB to Cといのですか、事業者の皆さんと消費者の皆さんの接点の場はむしろ既に大型の商業施設をはじめ東日本の連携推進協議会に参加をされているいろいろな施設もございませので、むしろそういったところと連動していったほうが効果としては高いのではないかと考えておりますので、そういった視点も含めて今精査をしている段階でございませ

で、現在まだこれは途中経過ということでご理解をいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。修正があれば後で言いますけれども。

議題 1 に関する質問

○ 東京新聞 農業交流施設のことなんですけれども、2点ありまして、1点はいただいた資料のほうに整備費用の想定もありますけれども、とりあえずの段階で、本年度はどういった予算をどれぐらい計上されているかというのが1つと、あともう一点が、農産物の直売所がメインになるのかなと思うのですけれども、今までは市内の直売の施設だったり、状況はどういうふうになっていて、どういった要望なり問題意識があってこういう施設をつくるようになったのかというところをもう少し詳しくお願いします。

○ 市長 まず、その背景ということについて申し上げますと、農業従事者の高齢化であるとか後継者不足など、農業を取り巻く環境が厳しいという部分もございまして、そうした中で本市の農業の特色としては、大規模な緑地空間であります見沼田んぼなど、県内でも有数の農地を有しているということから、また消費地と非常に近い場所で生産をしているといった特色があると考えております。

そうした特色を生かすためには、ある意味では都市型農業を最も発信ができるチャンスがあります。それは、農産物そのものを売ということもありますけれども、農業そのものを体験するとか、農業のよさを総合的に体験する場をこの農業交流施設の中でつくっていくことで、より都市型農業のよさみたいなことを、これは埼玉県のみならず首都圏、特に東京を含めて発信ができるのではないかと考えております。

特にこの農業交流施設の本館の部分は、直売所であるとか、あるいはレストランというような部分でありますけれども、その周辺にはたくさん、市民農園であるとか、あるいは観光農園などもございます。また、緑の広場もあったり、総合的に1日来て農業を体験をし、それでおいしい農産物をその場で食べていただくことであったり、あるいはその周辺の自然環境と一体となって過ごすことができる時間なども創出ができるだろうと考えております。そういう意味では、この農業の一つの都市型農業の体験の場としても十分に活用していただきたいという思いでつくらせていただいています。

- 読売新聞 今の関連で。現状こういった施設で、柱になってくると想定されている農産物はこういったものがありますでしょうか。
- 事務局 さいたま市の農産物ということで、野菜類で特に生産量が多いのはコマツナとかホウレンソウ、またここは見沼地区でございますので、里芋とか八つ頭、こういったイモ系の農産物等も多い地域でございます。
 あと、先ほど説明がありましたとおり花、植木は、こちらのほうが生産地ということもございますので、この辺の生産物を中心と考えております。
- 読売新聞 基本的には野菜が多いというイメージですかね。果物関係は余りないんですでしたっけ。
- 事務局 果物につきましては、近くに観光農園ということでイチゴ、それからブルーベリー、それから梨とか、季節、季節で生産されている農家さんが周りに、摘み取り農園といますか、観光農園を行っている方がいらっしゃいますので、そういった方々も一緒にご協力いただいで進めていきたいと考えております。
- 読売新聞 農産物の加工体験というのは、例えばどんなものをつくるイメージですかね、農産物の加工体験。
- 事務局 今具体的にこれだというものはないのですが、例えば想定する中では、漬物つくってみたり、いろいろとれた野菜を使って料理とか、そういったものを想定しております。具体的なものは、この事業を進める中で、より具体的なものは検討していきたいと思っております。

議題2に関する質問

- 時事通信 時事通信です。
 ちょっとテラスの続きなんですけれども、そもそも建築面積は書いてありますけれども、敷地面積と、あとこれから大宮の東口に多くの観光客が来るのでおもてなしということなんですけど、主に当面だと盆栽大会、オリンピックとありますが、どういうもののイベントとかに、ここの東口を利用されるイメージを描いておられるんですか。
- 市長 まず、敷地の規模については東側半分の、自転車の駐輪場自体は約470平方メートルございますが、そのうちの半分の約240平方メートルを活用して建築物をつくっております。建築面積としては173平方メートル、屋上のテラスは約150平方メートルでございます。

使われ方としては、今後ルールづくりであるとか、あるいはいろいろなことを今検討している真っ最中でございますが、イメージとしましては例えば世界盆栽大会があった場合には、世界盆栽大会の情報発信といいますか、いろいろなパネルが置かれて、こういったものがやられていますよということが発信されていたり、あるいは盆栽の一部が掲示されていたりということもあるかもしれません。

また、先ほど東日本の連携のお話がありました。今、軒先マルシェということで大型商業施設の軒先を借りて、東日本のおいしい食材であるとか、あるいはお土産などを販売させていただいておりますけれども、例えばそういった場所でそういったイベントであったり、あるいはそういった販売なども行うことが可能にもなるだろうと。また、さいたま市もJRと組んで、年に1回鉄道ふれあいフェアなどもやっておりますので、そんなときには鉄道のすばらしさを感じていただく一つの空間としても、いろいろなイベントの場所として活用ができるのではないかと考えております。アーバンデザインセンター大宮などもできておりますので、そういったところなどを通じまして地域の皆さんと、あるいは周辺の商業者の皆さんも含めまして、いろいろな形で運営のためのルールなどをつくっていただくとともに、積極的な活用をしていただくための取り組みなどもあわせてやっていきたいと思っております。

第一弾は、世界盆栽大会をお招きしての部分だろうと思いますが、これについては今検討しておりますので、開催前にまた皆さんにお知らせをしていきたいと思っております。

ほかにはいかがでしょう。

- **時事通信** 事務的なことで恐縮ですけど、敷地が240で、テラスが150で、建築面積が173で、トイレとかコミュニティサイクルポートというのがあ
るんですけども、テラスの部分はこの173に入るんですか、入らない
んですか。
- **事務局** これは入らない。
- **時事通信** 1階部分が173という理解でいい。
- **事務局** 2階のテラスは、どちらかというと屋根の上を利用する、そういうイメ
ージです。

○ 時事通信 では、テラスを含めると、この150足す173でいいですか。利用できる面積は。

○ 事務局 はい。

幹事社質問：

①2020年東京オリンピック・パラリンピックの都外会場整備について

②見沼田んぼの桜回廊の賑わい状況や観光面での効果について

○ 共同通信 それでは、幹事社のほうから代表質問させていただきます。質問はまとめて行いますので、よろしく願いいたします。

まず1点目ですが、東京五輪パラリンピックの都外会場整備についての議論が続いていますが、現状への市の認識と市の目指す立場についてお考えをお聞かせください。

2点目は、このほど完成した見沼田んぼの桜回廊のにぎわい状況や、観光面でのプラスの効果などについて、ご所見をお聞かせください。

よろしく願いいたします。

○ 市 長 それでは、幹事社の質問に順次お答えしたいと思います。

まず、1点目の東京オリンピック・パラリンピックについての質問でございますが、これまで作業チームが設置をされまして、組織委員会、都、国の3者に加えまして、本市、あるいは埼玉県等の開催地自治体による仮設整備等に関する情報共有や意見交換が行われてきたところでございます。

そもそもの大前提としましては、東京大会招致の際の立候補ファイルによれば、競技会場に要する仮設整備等の費用負担については、組織委員会が負担することとなっております。また、市内会場でありますさいたまスーパーアリーナと埼玉スタジアム2002につきましては県有施設であるということから、少なくとも仮設整備費につきましては本市が負担する考えはないという認識でございます。

そうした中で、先般小池都知事の施政方針表明の中で、他の自治体が所有する施設の仮設整備費について、都が負担する可能性も検討していく旨が示されたところでございます。本来でありましたら、年度内には小池都知事から役割分担や費用負担について示されるとのことでありましてけれ

ども、先日の都議会におきまして、小池都知事が年度内に示すことが難しいと答弁されております。また、都の担当からもオリンピック・パラリンピック部に事前の連絡がございまして、その旨の説明がなされたと聞いております。

本市としては、引き続き都や、あるいは組織委員会の動向を注視していくこととなりますが、大会の成功に向けて協力していくことは当然であると考えております。

いずれにしましても、オリンピック・パラリンピック部を中心としまして、関連する所管で部局横断的にチームを組んで、民間事業者等とも連携を図りながら協力できる部分については、できる限り協力をしていきたいと考えております。

2つ目の見沼田んぼの桜回廊についての質問にお答えをしたいと思います。見沼田んぼの桜回廊につきましては、去る3月2日の定例記者会見以降、ありがたいことに数多くの新聞報道や、先週にはテレビでも取り上げていただきました。そういったことなどもございまして、おかげさまで見沼田んぼの桜回廊についての問い合わせが、例年より増えている状況でございます。

また、桜が満開となった現在、実際に散策を楽しむ方も、また平日においても多く見られ、例年以上に注目度が上がっていると感じているところでございます。

散策する方が多くなっている傾向があることから、今回の日本一の桜回廊を契機といたしまして、歴史ある見沼田んぼのすばらしさをより多くの方々を知っていただくことが、観光面を含めさいたま市のブランド力向上に寄与すると考えております。

将来的には、桜を題材にしたお土産でありますとか、あるいは食べ物、料理であるとか、飲み物といったものなどの商品開発などにつなげていって、本市の観光資源の一つとして成長させていきたいと思っております。

今後も日本一の桜回廊の魅力を発信し、首都圏に残された貴重な大規模緑地空間であります見沼田んぼをより多くの方々を知っていただき、見沼田んぼの桜回廊がさいたま市の絆と誇りとなるよう取り組んでまいりたいと考えております。この週末から日曜日にかけても、まだまだ満開の

桜が楽しめると思いますので、ぜひ訪れていただきたいと思います。

以上です。

幹事社質問①に関する質問

○ 共同通信

ありがとうございます。

何点かお伺いしたいんですけども、お話にもあったように、3月末までというのが現在ずれ込んでいる状況で、おくれると当然市のほうの準備だとか対応にも影響が出ようかと思うんですけども、そのあたりについての受けとめというか、どのように受けとめられていますでしょうか。

○ 市長

特にハード面でありますとか、特に仮設の建物等々やはり時間を要する、準備に時間を要するものなどもございますので、できるだけ早くこれらを決定して、そして取り組んでいくことが望ましいと考えております。

そういう意味では、それらの役割分担等について早くお示しをいただきながら、また議論をしていくことが必要だと考えております。

幹事社質問②に関する質問

○ 共同通信

あと、桜回廊なんですけれども、問い合わせや散策する人が増えているということですが、まだシーズン途中で難しいかもしれませんが、何か比較できるとか、これぐらい増えたみたいなものは示せるものはあるでしょうか。

○ 事務局

実際歩かれている方に聞くというのはなかなか難しいところなんですけど、問い合わせにつきましては、先日の桜回廊の達成ということで植樹祭のときの記事が載りまして、それから6件あったんですが、テレビの放映がありましたとき、3日から5日の間に18件ございます。

また、桜回廊はかなり長いところですので、歩いている方にきのうお話を聞きましたら、やはりテレビを見たり、また植樹祭に配った桜マップ、ガイドマップがございまして、それをお店に配置しましたので、持たれている方もかなりいらっしゃいました。そのような状況でございます。

○ 共同通信

幹事社からの質問に関連して質問のある社はお願いいたします。

それでは、そのほか質問がある方は質問をお願いします。

その他：市長選について

○ 朝日新聞

朝日新聞です。

市長選について伺いたいんですけど、告示まで1カ月を切りましたけれど

も、先日の会見で市長は議会との関係について、同じ方向を向いている方々とはしっかりと連携しながら前に進んでいきたいとお話しされていたんですけども、市長選で特定の政党には支持を求めないと今のところおっしゃっているんですけども、各個々の議員の方に支援をお願いしたり、実際選挙に入らせていただいているようなこと、そういうことは現時点で考えていらっしゃるのでしょうか。また、求めていくというご予定はございますでしょうか。

○ 市長 現時点では、まだそういったことを行っておりませんが、今後については議員個々と、そういった協力関係を結ぶということはあるかと思っております。

○ 朝日新聞 では、実際選挙戦で、そういうふうに関係を結んだ方が表に立って、市長と話をされたりとかというようなこともあるかというように。

○ 市長 そうですね。あり得ると思います。

○ 共同通信 今の点なんですけども、個々の議員と協力することはあるかというのは、現時点でもう考えていたりとか、または実際に協議を進めているということはあるのでしょうか。

○ 市長 具体的な取り組み云々というところまではございませんけれども、市長選挙というのは、これからのさいたま市をどうするかということを市民に問う部分が大変大きなものであろうと思います。その中で、やはり全体の方向性についてしっかりとお互いに理解をして、そしてその中で党派とか党とかということではなくて、個々で協力をしましょうとか、お会いしましょうということになってくるものだと思っております。いろいろなこれからのことについて、議員の方々からそういったことを聞かれるケースもございますので、そういったときにはお話をさせていただいたりもしております。

今後、まだ選挙戦までは1カ月ぐらいございますけれども、そういった中でまた個々に応援をしてくださるという方も出てくるかもしれません。

その他：待機児童について

○ 埼玉新聞 埼玉新聞と申します。

待機児童対策についてお伺いいたします。市では、ことし4月、今月なんですけれども、待機児童解消を目指すということで市長明言されていま

すが、現在の状況を教えていただけますでしょうか。

- 市長 現時点でも、集計作業を行っているところでございます。5月の中旬ぐらいというのが例年発表している時期であります。少しでも早くお知らせができるようにということで、鋭意担当のほうで作業を進めているところでございます。

4月中旬から後半になる前ぐらいには公表できるように、努力をしていると聞いております。

- 埼玉新聞 関連してなんですけれども、先月30日に厚生労働省の検討会が行われてまして、待機児童の定義を見直すということで、育児休業中でも職場復帰を望んでいるお母さんの場合は、そのお子さんは待機児童に集計することにして、今年度から順次その適用を促す、各自治体にも適用を促すというふうにしているということでお伺いしたんですけれども、これ市の対応はどうされるんでしょう。

例えば具体的に言うと、育児休業中の人ですとか主に自宅で求職活動をされている方、これは去年4月の段階で、これ今数えたら600人以上いらっしゃるんですけれども、ここは今までは待機児童に含まれていないんですが、今後それを含むという方向なんですけれども、これについてはどのように対応されますでしょうか。

- 市長 まず、平成29年3月31日付で国から通知がございました。平成29年4月1日現在の調査については、従来は保護者が育児休業中の場合については待機児童数に含めないことができたものを、復職の確認ができる場合には待機児童数に含めることとされた点が、これまでと大きく異なる点と認識をしております。

今年度の調査につきましては、育児休業中に係る復職の確認ができないなど、改正後の調査要領によりがたい項目がある場合には、その旨を付し改正前の調査要領に基づく計数を記載できることが示されております。現在、育児休業中の方の復職の意思は確認できておりませんので、新定義での算出については、現在その方法なども含めて検討しているところでございます。

本市では、待機児童数だけではなく子育て世代の不安を解消し、安心して子育てできる環境を整えて、また保育の質を低下させることなく、保育

を希望される方が一人でも多く保育施設を利用できるように、需要を適切に踏まえた形で施設整備を進めておりますので、この整備計画等に直接的な影響は現時点ではないと考えておりますが、極めて直近に方針が示されましたので、これに合わせるような調査については、今後少し時間を要することになるだろうと思っております。

- 埼玉新聞 確認ですけれども、古い定義で、今度4月中旬から後半にとおっしゃっていた数字は、その3月末のその前の段階での定義で発表していただけると、そういうことでしょうか。
- 市長 そうですね。まずは、そういう形で作業を早目に進めさせていただいて、できるだけ早く皆さんにお知らせをしたいということが第一点で、その後については、(新たな)基準に合うような調査、精査の仕方ということについても検討して、それらについても今後対応していくことが必要だろうと考えております。
- 埼玉新聞 1点だけ、追加で申しわけないですけれども、自宅で例えば求職活動で復職の意思があるというのは、今年度中にその確認作業を進めていくということによろしいんですか。
- 市長 やり方をどういうふうにするかというのは、これは極めて重要であり、また難しさも伴っておりますので、多少他市の状況なども伺いながら、こういった形が現実的にできるかどうかということも含めて、今検討している最中でございます。

その他：ふるさと納税について

- 朝日新聞 朝日新聞です。
ふるさと納税について伺いたいんですが、先日総務省が返礼割合を3割以下にするといった見直しの通知を出したんですけれども、常々市長は見直しを国に求めてきたと思うんですけど、その観点から今回の通知の内容についてどのように評価されているか、伺えますでしょうか。
- 市長 前々回のときの質問にもお答えをさせていただきましたけれども、やはりふるさと納税の趣旨は、ふるさとに貢献をするという、そういった趣旨ででき上がってきたものだと思っております。そういう趣旨については、私どもも賛同できる部分はございますけれども、ただもう一方で、それを獲得するために過度な競争であったり、(控除額が寄附額を)上回ったり、

あるいは過度に影響を与えてしまうような返礼品になってしまうことで、趣旨が必ずしも十分に生かせない状況が生まれつつあったということは、これは事実だろうと思います。

そういう中で、今回方向性が示されたということは、やはり一定の評価ができるものだと私たちは思っておりますし、そういった範囲の中でいろいろ知恵を絞りながら、またふるさと納税についての呼びかけをしていくということが必要ではないかと思っております。

○ 共同通信

よろしいですか。

どうもありがとうございました。それでは、以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。

○ 進 行

以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。

なお、次回の開催は4月19日水曜日、13時30分からを予定しておりますので、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

午後2時25分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。